

Aridagawa local life magazine

sumola

- small life -

TAKE FREE

sumola -small life-

CONTENTS

04 データで見るありだがわ

06 ありだがわの暮らし

きとら農園 新田清信さん

ジママヤベーカリー 野村優一さん・聖子さん

みかん農家 築山和俊さん

ゲストハウスもらいもん 楠部睦美さん

清水森林組合 近藤真功さん

Nomcraft Brewing 金子巧さん

20 NEXT GENERATION 家業を継ぐ次世代

丸十家具 森本真輔さん / カネイワ醤油 岩本庄平さん

22 支援制度

スモラ
sumola -small life- は、この地方の方言で“住もうよ→住もら”から名付けています。



small life is HAPPY

ここは水と緑が自慢の

さんしょう
みかんと山椒の産地

都会のような華やかさはないけれど

穏やかな時間と

おおらかな人

豊かな暮らしがここにはある

すこしべんりで すこしのどか

「ちょうどいい田舎」

有田川町に住もうよ

データで見る ありだがわ

有田川町ってどんな町でしょうか？
緑豊かで、水も豊かなまちは資源の宝庫。
近頃はカフェや飲食店も増えてなんだかワクワク。
楽しむも楽しまないも、全てあなた次第。

都市部へのアクセスが良い

関西国際空港まで

50分

吉備エリアから高速道路
を使った場合のドア to
ドアの移動時間。

新大阪駅まで

90分

便利な田舎有田川町。
JR藤並駅から
特急くろしおで
乗り換えなしで行けます。

総森林面積

27,076ha

町の総面積の約77%が森林！
つまり林業の可能性も無限大。



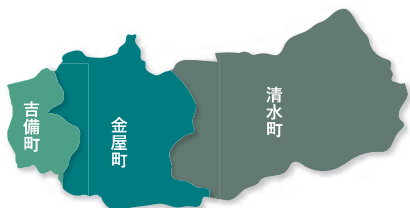
総人口

約 26,000人

有田川町にある3つのエリア

年代別人口割合

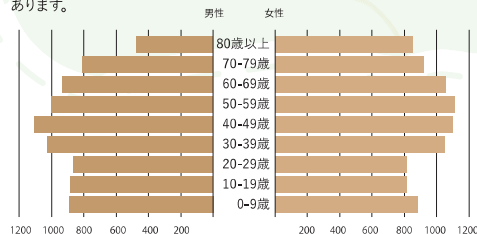
有田川町は平成18年に吉備町、金屋町、清水町の3つ
の町が合併してできました。



吉備エリア

人口 16,592人

町の西部に位置し、JRの特急停車駅や高速道路ICがある都市部
へのアクセスが良いエリア。有田みかんの一大産地でありながら、
飲食店や小売店の数も多く、製造業をはじめ規模の大きい企業も
あります。

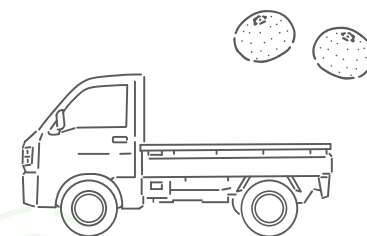


みかんの年間生産量

48,500トン

Mサイズに換算すると実に5億個！

町民ひとりあたり18,000個もつくっていることに…
日本一のみかんの産地。



クラフトビール醸造所の数

2店

まちで地ビールが飲めるって自慢です。
本格アメリカンビールから、
有田川町の食材を使ったビールまで
いろいろ楽しめます。

産直市場の数

6店

あなた好みの産直がきっとある。
鮮度抜群の食材が、いつでも安価で
手に入ります。

あらぎ島の田んぼの枚数

54枚

町のシンボルは日本でも珍しい棚田。
大小54枚の水田が扇状に広がり
島のような景観をつくっています。
国の重要文化的景観、棚田百選にも
選ばれています。

ぶどう山椒の生産量

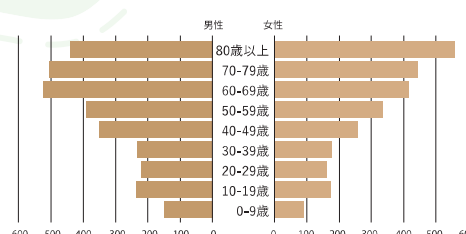
224トン

うなぎ
鰻の友？いいえ。ラーメン、フレンチ、
スイーツまで用途は多岐にわたります。
日本一の生産量を誇るぶどう山椒。
他の山椒にくらべて大粒で、
爽やかな香りとピリッとした
辛みが強いのが特徴です。

金屋エリア

人口 6,643人

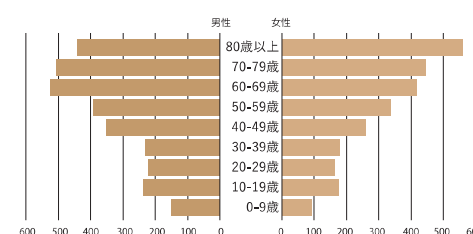
町の西部から中央部にかけてのエリア。吉備エリアと同じく有田み
かんの産地で、季節に応じてハッサクやレモンなど様々な柑橘類
が栽培されています。



清水エリア

人口 2,674人

有田川町の東部を占める山間部のエリア。清水エリアが発祥の
「ぶどう山椒」や良質な木材「紀州材」の産地としても知られてい
ます。和歌山県では珍しい積雪のあるエリアです。



2022年6月30日時点

2

のむら ゆういち せいこ
野村 優一・聖子さん
ジママヤベーカリー

Uターン・起業

沖縄県出身の優一さんと、有田川町出身の聖子さん。沖縄県で就職した際に出会い結婚。出産を機に聖子さんの地元有田川町に移住。2017年ジママヤベーカリーを開業。



1

しんだ きよのぶ
新田 清信さん
きとら農園

Uターン・就農

有田川町出身。2011年の結婚を機に和歌山県にUターン。きとら農園を立ち上げ、有田川町最年少のぶどう山椒農家として就農。2022年より清水エリアに生活拠点を移す。



4

くすべ むつみ
楠部 睦美さん
ゲストハウスもらいもん

Uターン・起業

有田川町出身。愛知県で会社員をしていたが、親戚から古民家を譲り受けることになりUターン。帰ってきて出会った仲間の後押しで、2016年ゲストハウスもらいもんを開業する。



3

つきやま かずとし
築山 和俊さん
みかん農家

Iターン・就職▶就農

愛知県出身。大学時代を過ごした滋賀県で就職し、結婚。2004年妻の実家がある有田川町に家族で移住。地元企業に就職し、その後2021年に就農。



6

かねこ たくみ
金子 巧さん
Nomcraft Brewing

Iターン・就職

愛知県出身。大学卒業後は世界中を旅し、2018年有田川町にたどり着く。Nomcraft Brewing立ち上げ時からブルワー兼マネジャーとして活躍。2022年有田川町で出会った女性と結婚。



5

こんどう まさのり
近藤 真功さん
清水森林組合

Iターン・就職

大阪府出身。2006年ドライブで清水エリアを訪れたことをきっかけに、夫婦で移住、森林組合に就職する。現在は購入した古民家を改修し、暮らしている。妻と子ども3人の5人家族。



ありだがわの暮らし

古くから林業とみかんで栄え

山々からの豊かな水が川に注ぐ

温暖な気候と澄んだ空気

あたたかな人が自慢のまち

そんなまちに移住してきた6人は

自分らしく

のびやかに

地方での毎日を楽しむ

6人の暮らしは

これからの豊かさを教えてくれる



ぶどう山椒+Xで未来を切り開く

エックス

しんだ きよのぶ
新田 清信 さん
きとら農園



山椒農家は儲かると思っていた

もう

新田清信さんは旧清水町出身。中学までは地元で過ごし、高校は和歌山市、大学は愛知県へと進学した。いつかは和歌山へ帰りたいという思いがあり、東京で出会った奥さんとの結婚を機に、2011年に和歌山県にUターンした。都市圏へのアクセスがよい海南市で約10年暮らし、2022年からは清水地域に生活拠点を移した。

新田さんがUターンしようかと考えていた頃、山椒農家をしていた親戚から、特産品のぶどう山椒需要の高まりと、生産者の減少を聞いていたので、本気でやれば儲かる、生計が立てられるだろう

と考え農家になることを決意した。新田さんの実家は農家ではなかったため、園地の購入や整備、苗植えなど数年かけ準備した。

いざUターンし、いよいよ収益が出ると思っていた矢先、山椒の市場価格が大暴落。山椒農家が増えたことに加え、豊作による供給過多で市場価格の下落が起こった。ぶどう山椒農家は山椒を作れば作るほど儲かると思っていたが、実際周りを見渡せば山椒農家はみな高齢で、ほとんどが年金と併せて生計を立てていた。これで行っていたの、か不安にかられた。



- 1 大粒の実をぶどうの房のようにつけるぶどう山椒
- 2 希少部位の花山椒は高級料亭からの需要も

山椒+Xで仕事をデザイン

新たな生計の柱を増やすことが必要になった新田さん。そこで、新田さんは本業以外の仕事に携わる「+X」の生業として、庭師の仕事始めた。山椒の開散期にあたる秋冬にかけて、庭木の剪定や造園の仕事を請け負っている。その後さらに、園地に自生していた「桑」に目を付け、「桑の葉茶」の商品化にも成功。ネット通販をスタートした。本業であるぶどう山椒にも付加価値をつけるべく、加工方法にこだわり、パッケージデザインも新たに6次産業化を強化した。2020年からは希少部位の花山椒の販売や、自社加工の

粉山椒の販売を始めた。きとら農園の山椒は鮮度と高い品質から、東京のミシュラン星付きの料理店からも受注がある。今では生産量の約9割を直接販売するまでになった。こうして新田さんは、+Xの生業で収入が安定するとともに、その後の販路の開拓により山椒の収益が上がり、家族を養うのに十分な所得を得ることができた。

清水を拠点に山椒の可能性を世界へ

有田川町のぶどう山椒農家は平均年齢が80歳超と高齢化が進んでおり、産地を継続するには、若年層の就農者が

ので、若い人にもぜひ就農してもらいともに発展させていきたいと新田さんは語る。「山椒+X」この新田さんのスタイルは、これから山椒就農を考える人の道しるべになるのでは。

文 楠部 睦美



きとら農園

有田川町清水 757
TEL 0737-22-7074
URL kitora-nouen.jp

- 3 奥さんと2人の娘さんと新田さん
- 4 熱に弱い山椒の風味を保つため、粉山椒は石臼挽きにこだわる

沖縄と有田川町をむすぶパン屋さん

ジママヤベーカリー 野村 優一・聖子 さん



有田川町は子育て支援が充実

沖縄県今帰仁村出身の優一さんと、有田川町出身の聖子さんご夫婦が営むパン屋、ジママヤベーカリー。今年でオープン5年目を迎える。定番のジママ食パンや、黒糖パン・島ベーコンエビなど沖縄ゆかりの素材を活かしたパンが人気だ。
二人の出会いには沖縄のホテルだった。優一さんはパン職人として、聖子さんはホテルのフロントとして働いていた時に出会い、結婚した。
移住のきっかけは聖子さんが里帰り出産をしたことから。当初は出産後、沖縄へ戻る予定だったが、子育てのことを考えると妻の実家が近い方が良いと考えた。また、有田川町は聖子さんが驚くほど子育て支援が充実していた。子どもの医療費が高校生まで無料なこと。

図書施設での、絵本イベントや読み聞かせが充実しているなど。

沖縄×有田川町の運命的な縁

移住後、聖子さんの実家であった空き家に家族で居住し、優一さんは紀美野町のパン屋「ドーシエル」で3年半修行した。独立を考えていた時、実家の番地が81311で、語呂合わせで『ハイサイ』（沖縄の言葉で「こんにちは」）であることに運命を感じ、2017年5月、自宅1階を改装してジママヤベーカリーをオープンした。店舗外装には沖縄赤瓦や琉球石灰岩を使い、素朴な沖縄を表現している。



店名のジママヤは沖縄の言葉で“ジママ=自由気まま”から

地元沖縄の素材を活かす

優一さんは開業にあたり、出身である沖縄の食文化を活かした商品を開発したいと考えた。しかし、こだわりのあまり納得のいく素材がなかなか見つからない。試行錯誤を重ね、黒糖を探しに沖縄へ行くなど開発には苦労した。現在では沖縄産の素材を直送し、黒糖や紅イモ、島ベーコンを使ったパンや、ジーマーミ豆腐、サターアンダギーなど沖縄のソウルフードを提供し、大人気の商品になっている。

現在は対面販売に加え、ネット通販にも力を入れている。全国から注文があり、今後は日本だけでなく、世界の方にパンを届けられればと検討を重ねている。

地域でのやりがいを見つける

野村さん夫婦は移住にあたって、自分が地域のために何をすべきか考えるのではなく、自分にできることで何か地域に貢献できることはないかを考えるようにした。

「パン屋もそのひとつで、地元の人に喜んでほしい、また他の地域から



2 | 1
4 | 3

- 1 パンのラインナップはセミハード系からソフト系までバリエーション豊か
- 2 早朝から仕込みをする優一さん
- 3 品出しや接客は聖子さんが担当
- 4 人気商品“ジママ食パン”北海道産小麦にこだわりの、パンの耳までやわらかい

ジママヤベーカリー

有田川町天満 813-1
TEL 0737-20-2052
Instagram @jimamaya_bakery

文 楠部 睦美

暮らして気づいたこのまちの魅力

つきやま かずとし
みかん農家 築山 和俊 さん



築山さんは愛知県出身。滋賀県の美術系大学を卒業し、同県のタイヤ販売店に就職。その後は一時大阪に移り、長男が2歳になったタイミングで奥さんの実家がある有田川町へ移住した。移住の理由は「家を建てる資金を貯めるため」であり、はじめから有田川町に定住する気持ちはなかったそうだ。

移住で感じたギャップ

有田川町での暮らしにはさまざまなギャップがあった。中でも大きく感じたのは「役」の存在だ。「僕の子どもが通っていた小学校は、運動会など保護者も当たり前のように設営や運営を手伝っていた。もちろん先生たちが中心ですが、行事の手伝いにこんなに親が入るとは思っていなかった」。このような地域のみんなで担う「役」という名の仕事が多岐にわたり、「田舎」のんびり」というイメージは覆った。

最初は役だから仕方ないと渋々割り切り参加していたが、参加していくうちに少しずつ楽しんでる自分に気づいた。「馴染んでくると最初感じていたギャップは気にならなくなった。大変なこともあるけど、その後の懇親会のお陰で友達も増えだし、居心地も良くなった。僕の住む吉田地区の人はお祭り気質の人が多いのかな。郷土愛が強く

あたたかな人のつながり

2012年この地に家を建て定住することを決めた。その大きな理由は地域の人のあたたかさだ。暮らしていると周りの人が「地域の子ども」みんなのように接してくれていることに気がついた。時には見守り、時には叱ってくれる地域の人のあたたかさ、安心して子どもを外に遊びに行かせられる環境に感動したという。

特に地域の人のあたたかさを強く感じた出来事がある。7年ほど前、3人のお子さんのうち一人を病気で亡くした。その時は地域の人たちに大きく支えられたという。「みんな自分のことのように一緒に泣いてくれて、ハグしてくれて。ものすごく救われた。本当に良い人達で。僕が受けた恩をこの人たちに返していきたい」。目に涙を浮かべながら振り返る築山さん。その声には、地域の人たちへの言葉にならないほどの感謝がこもっていた。

農家を継ぎ、考えるこれから

2021年、築山さんは勤めていた会社を退職し、年末からみかん農家の仕事を始めた。奥さんの実家の農業を継ぐことはうすうす意識していたそうだ。「みかん農家はなりたくても簡単に

なれるものではない。代々受け継がれてきた土地があつて、僕にはできる環境があつた。自分の子どもたちが継ぐかどうかは分からないけど、可能性を

つなぐ役割ができれば」と築山さんはいふ。今後は、農業をしながらこの地域の良さを発信できる場所を作りたいと教えてくれた。「まだ農業を始めたばかりで大変さが分かっていないけど、この辺にはみかん畑だけでなく、老舗の酒蔵や昔ながらのお菓子屋さんもある。この地域の良いところをいろんな人に知ってもらいたい」。

自分ができることで地域のために貢献していきたいと話す築山さん。暮らしを楽しむ、この地を愛する彼の言葉は、地域の今後を楽しみにさせるものばかりだった。

文 岩本奈央子



と一緒にワイワイ楽しめたら仲間！
みたいな（笑）。

その後も地域の人たちとの仲はどんどん深まり、今ではすっかり地域に溶け込めたという。

また、移住して驚いたことは他にもある。都会暮らしだと簡単にはできなかったBBQが、ここでは庭先でもできるということだ。お向かいさんに初めてBBQに誘われた時は、自分でもやってみたくてワクワクしたそうだ。元々自然の中で遊ぶことが好きだった築山さん。現在では自宅でのBBQをはじめ、キャンプや釣りなどの趣味で充実した休日過ごしている。



1 | 2

- 1 最近のマイブームは近場で手軽に楽しめる“ソロキャンプ”
- 2 地域の仲間と日本酒を嗜む「利き酒会」



これから有田川町で 心地よく暮らし続けたい

ゲストハウスもらいもん
楠部睦美さん



きっかけはもらった古民家

楠部さんは旧金屋町出身で高校卒業まで地元で過ごした。滋賀県の大学に進学し、京都の宮津市上世屋集落で村おこしの活動に携わったことで、地元である有田川町をはじめ日本の地方について目を向けるようになった。その活動を通して「地元の人間だからこそできることがある」と感じ、いつかは地元に戻ろうと思うようになった。

大学卒業後、愛知県の建築会社で働いていた時に親戚の古民家を譲り受ける話が無い込んだ。これをきっかけに有田川町へ帰ってくることにした。

Uターン後の 新たな出会いが転機に

有田川町にUターン後、古民家を使って何かしたいと考えている時に有田川町のまちづくりグループ「AGW」を知り、参加した。AGWとは「有田川町をより良く変えていきたい」と思う町内の若手有志でつくれたグループで、今まで接点が無かったような町内の面白い人たちが出会うことになった。そこで出会った仲間に「ゲストハウスをやってみよう」という想いを後押しされ、古民家を改修し、2016年にもらいもんをオープンした。宿名はもらったものを意味する方言「もらいもん」から名付けた。

町の魅力を体感する宿

楠部さんは「町を訪れた人に、有田川町の空気を感じてもらえる宿でありたい」と、もらいもんで過ごす時間の中で町が感じられるようにしている。みかん畑に囲まれたロケーションや地元の食材を使った料理、お客さんとの会話を通じておすめの地域の情報を提供している。楠部さんの明るい人柄や宿の居心地の良さからリピーターも増えている。

楠部さん自身も、お客さんと話すことで町の魅力や面白さが客観的に整理できているという。「有田川町は、いわゆる観光地ではないが、個性豊かなカフェやクラフトビールの醸造所があり、町中にみかん畑がひろがる。せっかく泊まるのなら有田川町ならではのローカルを感じられる宿の方が楽しい」。有田川町に興味を持ってくれた人の入口となるような宿でありたいと話す。

人と人をつなぐ

楠部さんは現在、2棟目としてももらいもんの隣にある、築110年のみかん蔵を改修している。宿泊客の受け入れを増やしつつ、ワーケーションをはじめ様々なニーズに応えられるようにする。宿の運営と並行し、移住希望者のサポートやまちの魅力発信などにも取り組んできた楠部さん。今後は移住希

望者のサポートやまちづくりの仕事にも取り組んでいきたいと考えており、2023度からは同町の廃校を活用した移住就業サポート拠点「しろにし」の運営にも携わっていく予定だ。

「自分が今後有田川町で心地よく暮らしていくためには、色々残っていてほしい。やっぱり好きなんですよ、地元が」と地元に対する想いを笑いながら話す。

楠部さんとゲストハウスもらいもん。それぞれからひろがる流れがまちに波及し、新しい動きを生み出すきっかけとなつてほしい。

文 天津やよい



2 | 1
4 | 3

- 1 ゲストハウスもらいもんの外観
- 2 旬のものや地元食材を使った料理が好評
- 3 22年9月にオープン予定の宿「日日」
- 4 二川地区の旧城山西小学校校舎を活用した移住就業サポート拠点「しろにし」

ゲストハウスもらいもん

有田川町吉原 1450
TEL 050-3555-1450
URL moraimon.jp



林業を通して100年後の未来を想像する

清水森林組合 近藤 真功 さん
 こんどう まさのり



移住するなら若いうちに

近藤さんは、大阪市阿倍野区出身。移住前は旅行会社でツアーガイドとして働き、海外・国内問わず添乗員として同行したり、山のツアーを企画する会社で全国の山々を巡ったりしていた。

清水エリアには、当時交際中だった奥さんと何度かドライブで訪れたことがあった。将来、田舎暮らしをできたらと漠然と考えていた時、この地域を気に入り、どうせ移住するなら若いうちにと思い、移住を決意した。大阪からのアクセスが良く、自然豊かなところが移住の決め手だった。

ひとつ課題となったのが仕事探しだった。どこか就職先はないかと、当時の清水町役場へ相談に行くと、林業への就業を支援する「緑の雇用制度」を紹介された。山が好きだった近藤さん。募集のあった清水森林組合に就職を決め、2004年、奥さんと二人で移住した。

他の業種にはない林業の魅力

近藤さんは森林組合で、事務職として山主に間伐など事業の提案や、現場管理、書類作成などを担当している。林業は木を伐り、植え、間伐：この繰り返しで、時間をかけて森を守っていく仕事だ。近藤さんは、数ある仕事の中で、自身が計画・

管理したことで成果が出て、山主さんに喜んでもらった時に大きなやりがいを感じるそう。林業の仕事はすぐに結果がでることは少なく、何世代にもわたってやっと結果が出るのがほとんど。伐採するまでの木の一生は100年前後。近藤さんたちは木の100年後の姿を想像しながら事業を考えるそうだが、そういったところも他の業種とは違った醍醐味だと語る。

暮らしのカギは人付き合い

移住当初は定住住宅を利用していた



管理する林地の点検作業をする近藤さん

が、知り合いのツテで紹介してもらった板尾地区の築150年以上の古民家を気に入り、裏山などと一緒に購入した。床の張り替えなど内装はDIYし、水回りや、オール電化の工事はプロに頼んだ。裏山や家の前の小高い丘など、子どもが遊べる場所が多く、夏は家の前でキャンプをしたり、秋は裏山で栗を拾ったりして、楽しみながら暮らしている。

田舎では都会以上に人との付き合いが大事。近藤さん自身も地域のお祭りや草刈りなど自治会の行事・役員など、積極的に参加し、地元の方と関わるようにしている。これらの共同作業がコミュニケーションの場にもなり、交流が楽しいそう。以前も近所のおばあちゃんに、こんにゃくの作り方や、お茶の作り方を教わった。ひと昔前は当たり前のことでも、現代では、ましてや街から移住した近藤さんにとっては貴重な情報だ。

人が少ないからこそ可能性もある

近藤さんが暮らしている板尾地区は、近年ますます住む人が少なくなっている。「少ないからこそいろんなことができる。田んぼも多くあり、山もあり、そういったものを生かして何かできることがあるのでは」と近藤さん

は言う。

林業を通して地域の資源を守り、活かしつつ、子どもたちの世代や未来へ残していきたい。そんな思いを語ってくれた。

文 楠部睦美

- 1 築150年以上の古民家を改装した近藤さん宅
- 2 冬場には欠かせない薪ストーブ
仕事柄、薪調達には困らない
- 3 子どもたちは友達や愛犬とのびのび過ごす
- 4 休みの日には子どもたちが通う学校の
全児童が集合すること

2 | 1
 4 | 3



クラフトビールでまちづくり

Nomcraft Brewing
かねこ たくみ
金子 巧 さん



Nomcraft Brewing のメンバー 4 人 一番左が金子さん

世界中を旅して辿り着いた地

金子さんは愛知県豊橋市出身。教育大学卒業まではごく普通の真面目な学生だったが、「このまま教師になって生活して、楽しい人生を送れるのか」と思い、気づけば採用試験も受けて、旅に出ている。

アジア各国を旅した後、ワーキングホリデービザを使い、オーストラリアとカナダに一年ずつ滞在した。そろそろ日本に帰国しようかと考えていた時、「どうせなら『全米一住みたい街』に選ばれているポートランドという都市を見てみたい」と思い、立ち寄った。

時を同じくして、ポートランドを訪れていたのが、同市を視察に来ていた有田川町役場職員と、まちづくりグループ A GW のメンバーだった。偶然異国の



- 1 旧田殿保育所を活用した施設 The Living Room
- 2 夏にプルワリー前で開催されるビアガーデンも好評

地で会う日本人に興奮しつつ、初めて聞く有田川町というまちが気に入り、「帰国したら訪れます!」と約束をした。そしてやって来た有田川町。A GW のメンバーと話をしていると、まさにポートランド出身のブルワーを中心にクラフトビールの醸造所をつくろうとしていた所だった。はじめは通訳として入っていた金子さん。次第にプロジェクトの全貌が見えてきて、なんだか面白くなってきた時に「一緒にやらないか?」と誘われ「はい、やります!」と即答し、ノムクラフト立ち上げメンバーに加わった。直感だった。

クラフトビールでまちづくり

ノムクラフトが掲げるビジョンは『クラフトビールでまちづくり』。どういう意味か尋ねると、「仕事帰りに一杯飲んでくれる方々がいたり、週末に町外から家族で訪れてくれたり、ふるさと納税で自分たちのビールを手にとってもったり:クラフトビールを楽しむシーン全てがまちづくりにつながる」と金子さん。「有田川町の柑橘をつかったビールを日本各地にセールすれば、農家さんと全国の人がつながることもできます。飲んでおいしい!となればそこへ行ってみよう!と関心をもち、人が来てくれる。ビールが人と

まちをつないで新しい出会いを生むんです」と語ってくれた。

好きなまちで好きなことをずっとやり続けたい

金子さんは仕事が終わりの日は県内の温泉を巡り、山登りや釣りなど大自然の中でアウトドアを楽しむ。他の市町村へのアクセスが良く、海にも山にも近い有田川町は金子さんにとってベストな場所なんだそう。

まちの魅力は何かと問うと、「食材がとにかく新鮮でうまい」と金子さんは言う。鮮度抜群の野菜や魚、季節ごとの柑橘を楽しめる点も金子さんにとって

はたまらないそうだ。

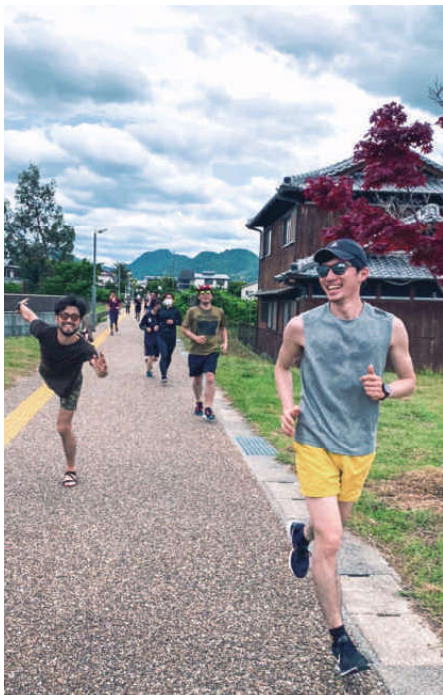
現在金子さんはノムクラフトの新商品の写真撮影や POP など広報物の制作も担当している。POP は取引先からも好評で、販売促進にも一役買っている。プライベートでは、友人とユニットを組んでスパイスカレーの考案。出店を定期的に行っている。好きで続けてきたカメラとスパイスカレーも仕事につながって、地方で暮らす楽しさが増した。「今後は大好きなアウトドアに関する新規事業をしてみたい」という野望も話してくれた。

今後のノムクラフトの展望はと尋ねると、「缶ビール販売」と答えてくれた。

現在個人向けには瓶のみの商品展開だが、将来的には缶入りにし、より多くの人に届けられたらと考えているそうだ。

楽しみながら仕事をする金子さんや仲間の姿を見て、かっこいい!と心から思った。今後もノムクラフトの展開と金子さんの活躍に目が離せない。

文 楠部 睦美



- 3 ランニング × クラフトビールのイベント RUN FOR NOM 開催時の様子
大盛況でその後は定期的なイベントに
- 4 人気 No.1 のビール NOM NOM GOLDEN

Nomcraft Brewing

有田川町長田 546-1
TEL 070-4211-5114
URL nomcraft.beer

NEXT GENERATION

家業を継ぎ、
現代に調和させる次世代
有田川町にUターンし、家業を継ぐ。
新しい感覚で家業を現代に調和させる。
まちを担う次世代たち。

カネイワ醤油

五代目
岩本 庄平さん

丸十家具

三代目
森本 真輔さん



―継いできつかけは？

大阪で暮らしていた大学二回生の頃、2代目の親父が心筋梗塞になった時でした。初代の祖父には「お前がやらのだったら店をたたむ」と言われていて。その時は他に料理の仕事にも興味があったし、子どもの頃はなんとなく継ぐのが嫌だなと思うこともありましたが、何もしないまま店をたたむのはもっと嫌でした。

―継いでから新しく始めたことはありますか？

継いだ当初は、初代のスタイルが残る昔ながらの家具屋でした。ある日、一緒に働く妻から「私の欲しい家具がここにはない」と言われて。改めてやりたい家具屋がなんなのか考えて、リニューアルしたのが約十年前。自分が良いと思う家具を中心に揃え、妻のアイデアだった雑貨販売も始めました。好きな料理をイベントとしてお客さんに提供したり、ワークショップやイベントが気軽にできる場所も欲しくて、店内にカフェも作りました。やりたいことをするって大変なこともあるけどやっぱり楽しいです。今年より良いものが揃う環境を作りたくて、僕史上一番気合の入った改装をしました。継いでから18年、まだまだですが

―継いできつかけは？

大学卒業後は奈良県の酒蔵で働いていましたが昨年の夏、家族ができて良いタイミングだったので地元に戻ってきました。両親から継いでほしいと言われたことはありますが、祖父や地域の人からは言われてきたので意識はしていました。

―継いでから新たに始めたことはありますか？

帰ってきてすぐ、こういう醤油屋さんで、どのように醤油を作っているのかを知ってもらうためにSNSを開設しました。結構反響があり、長年使ってきた、知っている方が初めて訪れてくれたり、発酵に興味のある方が遠方から来てくれたり。今まで直接接点がなかったお客様とコミュニケーションが取れるようになりました。他にも20、30代の若いお客様にアプローチするための方法を今模索しているところです。醤油は若い人ほどこだわりがないように感じるので、近年流行っている「キャンプ」と掛け合わせて、知ってもらうための仕掛けを色んな方に話を聞きながら考えているところです。

―ご自身やお店が大切にしていることは？

やりたい家具屋の形に近づきつつあります。

―ご自身やお店が大切にしていることは？

お店に関わってくれる人みんなが楽しんでくれる事。スタッフさんって僕のやりたい事に対して応援してくれるありがたい存在です。みんなが働く時間も楽しい時間であってほしいので、その為の環境作りは大切にしています。それはお客様に対しても同じで買物をするだけじゃなくて、親しみやすさを共有できるような店でありたいな。そのためにも何より自分がしっかりと楽しんで仕事に取り組みよう心掛けています。

―あなたの考えるまちの魅力は？

都会へのアクセスが良く、田舎なのにちよいどいい住みやすさがあるところ。あと僕からすると、面白い人が多いと思います。話してみたい、飲みに行ってみたいなと思う人がたくさんいます。やっぱり人が魅力ですね。

文 岩本 奈央子

面白い醤油屋さんでありたいと思っています。小さくてもチャレンジし続け、常に動きのある醤油屋さんを目指しています。そして親父がよく言っていることが、結局全ては「人」だということ。昔と変わることなく本物の醤油にこだわり続けることで、お客様が別のお客様に勧めてくださる。その繋がりが一番ありがたいことだと。昔から地元の方々に支えていただいていたので、その方たちを裏切ることはできません。地元に愛され続けるために、自分たちが作れる量をちゃんとした原料、作り方でこれからも作っていきたいです。

―あなたがまちに対して思うことは？

有田川町は観光地にはならなくても、良いものがたくさんあると思います。景色としても産業としてもみかんが溢れていたり、コスモスパークや生石山があったり。昔は当たり前でしたが、一度外に出たからこそ、その良さを改めて感じます。そしてできることもまだまだたくさんあると思っています。僕は地元が好きで、やりたいこともたくさんあるので、これからです！

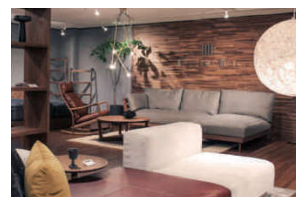
文 天津やよい



カネイワ醤油

1912年創業の老舗醤油屋。
こだわりの素材を使い、昔ながらの製法で作られる醤油は地元の味。

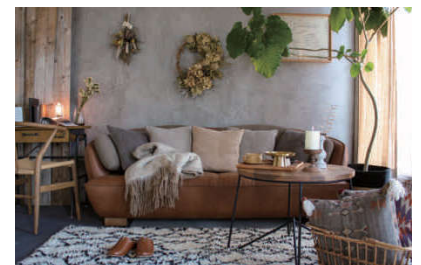
住所 有田川町小川 357
TEL 0737-32-2149
営業時間 9:00-17:00
URL kaneiwana.net



丸十家具

1963年創業の家具店。
ぬくもりを大事にした家具をはじめ、シンプルで使い心地のいい生活雑貨などが揃う。

住所 有田川町天満 20
TEL 0737-52-2373
営業時間 10:00 - 18:00
(カフェのラストオーダーは17:30)
URL marujyukagu.com



まちについての情報はこちら

ぼくらが住むまち
有田川町移住・交流促進サイト



ぶどう山椒オフィシャルサイト



@aridagawa_official

@AridagawaTown

@join_hajimail

sumola -small life-

STAFF
AMATSU YAYOI
IWAMOTO NAOKO
KUSUBE MUTSUMI

※本誌データは2022年6月時点での情報を元にしています。
あらかじめご了承ください。

※本誌は有田川町「女性による有田川町ファンづくり事業」補助金を
活用し、有田川女子会 UP Girls 有志が企画・編集しました。

発行：有田川町

Check ! 有田川町・和歌山県のさまざまなサポート

しごと

起業支援事業補助金



最大50万円。起業する方に対し、
開業費用を一部助成します。

しごと

空き店舗等活用推進補助金



最大40万円。指定地域で空き
店舗・空き家等を改修して事業
を行う方に対し、改修費用を一
部助成します。

しごと

移住者農林水産就業補助金



最大50万円。県外から移住推
進地域へ移住し、農林水産業に
就業（独立経営）する方を支援
します。

しごと

林業従事者就業奨励金



林業事業体に正規雇用される方
に対し、就業時にかかる費用を
支援します。

子育て

育児用品等購入費助成



子育てを支援するために、育児
に必要な用品の購入費を一部助
成します。

子育て

子ども医療費



医療保険に加入している小中学
生・高校生に対し、保険診療の
自己負担分を助成します。

子育て

在宅育児支援事業給付金



多子世帯の経済的負担を軽減す
るため、乳児の保育を家庭で行
う保護者に対し給付金を支給し
ます。

子育て

出産祝い金



出産祝い金（10万円）を支給し
ます。第3子以降は1年後さら
に25万円を支給します。

暮らし

エコな暮らし支援制度



生ごみを堆肥化するコンポスト
容器を貸与します。
家庭用太陽光発電・太陽熱利用
設備導入費用の一部助成します。

暮らし

薪ストーブ等設置補助金



最大5万円。薪ストーブなどを
購入し設置する方に対して、費
用の一部を助成します。

暮らし

空き家改修補助金



最大80万円。県外から移住推
進地域への移住に際し、空き家
を改修しようとする方または空
き家所有者のどちらかが申請可。

暮らし

町産木材利用住宅支援補助金



町産材を活用して、住宅を新築・
改修等する方に対して、工事費
用の一部を助成します。

本冊子発行時点での情報です。内容が変更されている可能性がありますので、事前にご相談ください。

お問い合わせ窓口：有田川町役場金屋庁舎商工観光課 ☎0737-22-4506 / 清水行政局産業振興室 ☎0737-22-7106